

道路事業

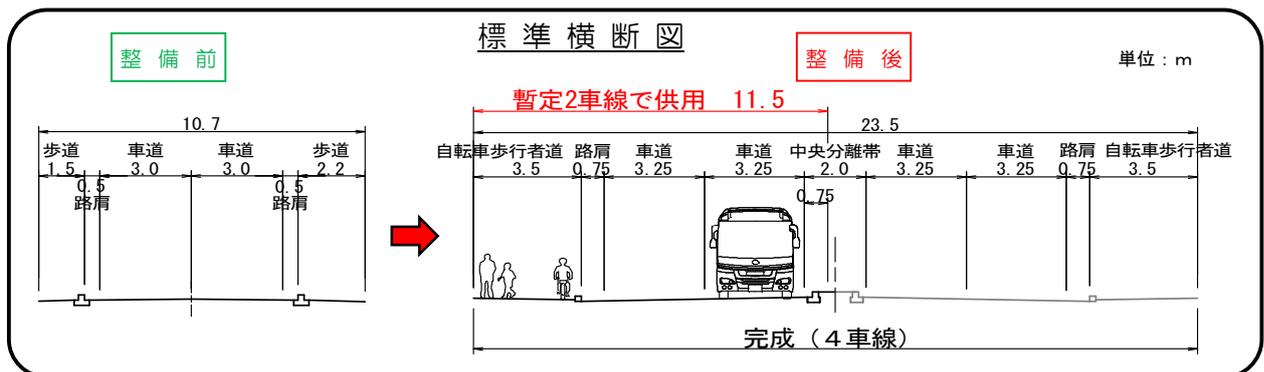
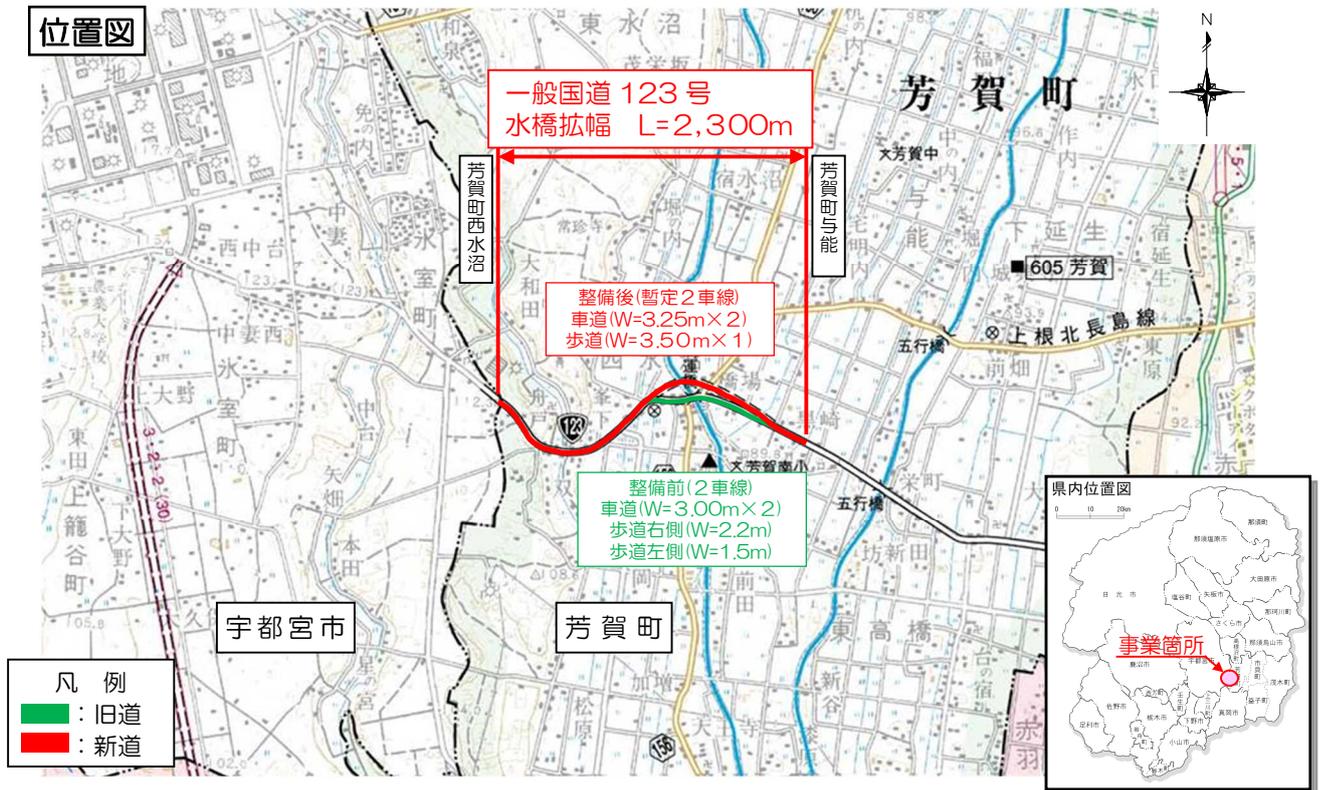
一般国道 123号 ^{みずはし}水橋拡幅 (平成30(2018)年3月 供用)

1 事業概要

一般国道123号は、宇都宮市を起点として県東部を經由し、茨城県水戸市に至る総延長70kmの幹線道路であり、県央地域と県東地域を連絡する東西交通軸としての骨格を成す道路であるとともに各地域の交流を促進し、産業・経済活動を支える重要な道路である。また、災害時における応急活動や物資等の輸送を確保する第1次緊急輸送道路に指定されている。

しかしながら、本事業区間は、カーブが連続し事故危険箇所指定され、通行車両等の安全な通行が確保されていないとともに、一級河川野元川に架かる開運橋を挟んで二つの交差点が近いことから、慢性的な交通渋滞が発生し、円滑で安全な通行に支障を来していた。

このため、栃木県では、交通の円滑化、歩行者・自転車等の安全確保、地域交流の促進、緊急輸送道路ネットワークの強化を目的として完成4車線で計画策定し、平成15年度から暫定2車線による整備を行い、平成30年3月に供用を開始した。



- ◆ 事業名 : 快適で安全な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 一般国道123号
芳賀町水橋拡幅
- ◆ 全体延長 : L=2,300m
- ◆ 幅員 : 暫定2車線 W=11.5m (車道3.25m×2、自転車歩行者道3.5m×1)
完成4車線 W=23.5m (車道3.25m×4、自転車歩行者道3.5m×2)
- ◆ 総事業費 : 暫定2車線 約34億円
- ◆ 事業期間 : 暫定2車線 平成15年度～平成29年度 (供用開始:平成30年3月)

2 事業の目的・必要性

- (1) 交通の円滑化
- (2) 歩行者・自転車等の安全確保
- (3) 地域交流の促進
- (4) 緊急輸送道路ネットワークの強化

3 事業の整備効果等

(1) 交通の円滑化

車道の拡幅やミニバイパスの整備により、慢性的な渋滞が解消され安全で円滑な通行が確保された。

整備前 (2車線)



整備後 (暫定2車線)



○利用者アンケート結果より

- ・利用者意見：道幅が広くなり、以前よりも走行しやすくなった。(地元住民)

(2) 歩行者・自転車等の安全確保

1) 自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車の安全な通行空間が確保された。

整備前 (片側歩道)

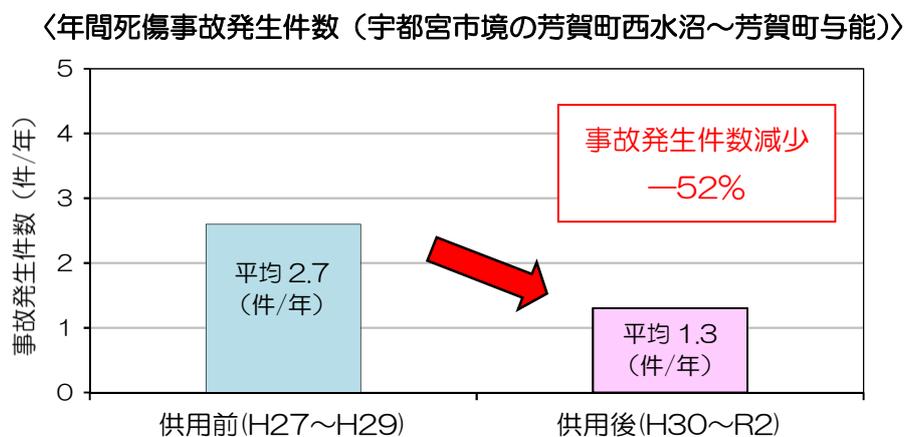


整備後 (片側自転車歩行者道)



2) 供用前と比べて事業区間の交通事故件数が減少した。

○交通事故発生件数の推移



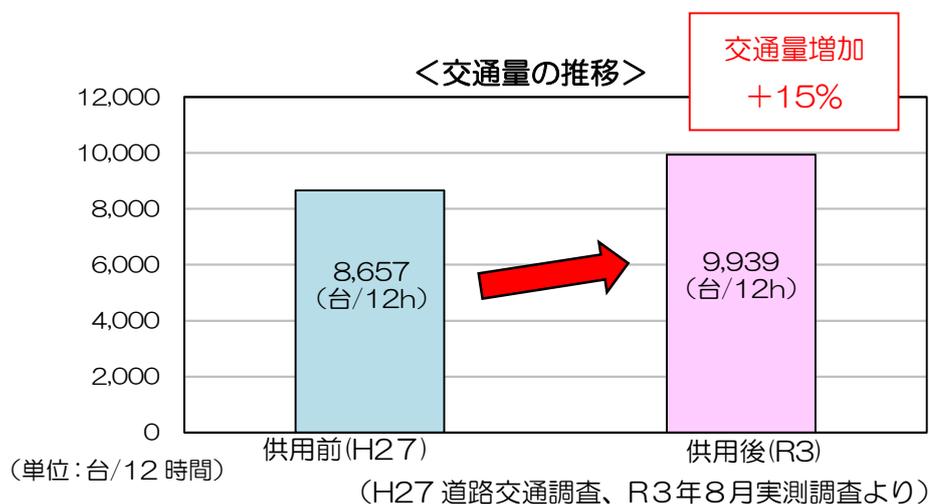
出典：H27.4～R3.3：栃木県警ホームページ「交通事故発生状況マップ」

○利用者アンケート結果より

- ・利用者意見：歩道が広がり、安心して歩けるようになった。（地元住民）

(3) 地域交流の促進

1) 供用前と比べて事業区間の交通量が増加した。



2) 利用者へのヒアリングにおいて「他の地域や高速道路ICへ行きやすくなった」との回答を得た。

○利用者アンケート結果より

- ・利用者意見：渋滞が短くなり、通勤が楽になった。（通勤利用者）

(4) 緊急輸送道路ネットワークの強化

道路の屈曲箇所が解消し、安全で円滑な交通が確保され、緊急輸送道路ネットワークの強化が図られた。

○利用者アンケート結果より

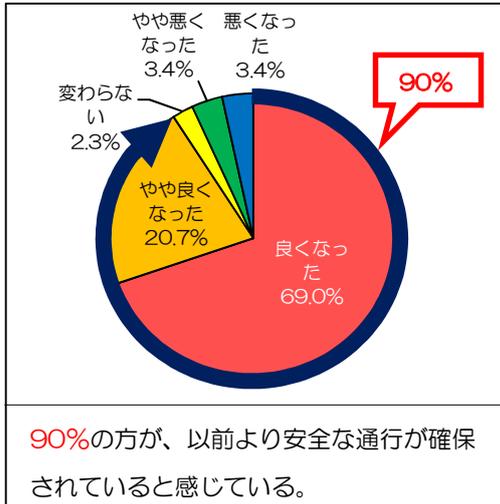
- ・利用者意見：重要な道路であるため、早期の4車線化を望みます。(地元住民)

4 地元の声・アンケート結果

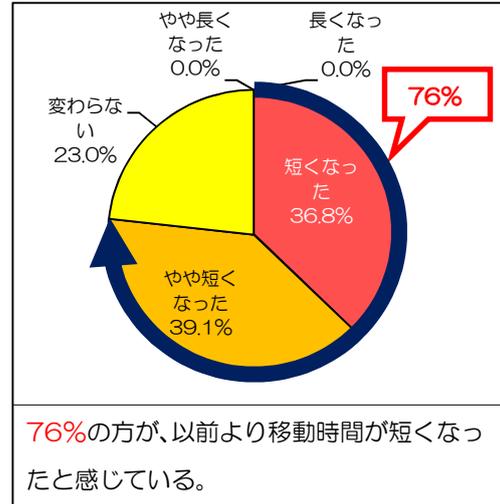
一般国道123号水橋拡幅の整備効果を検証するため、地域住民や企業等にアンケート調査を実施した。

(回答数/配布数：87/170件 回答率 51% ※有効回答数は設問により異なる。)

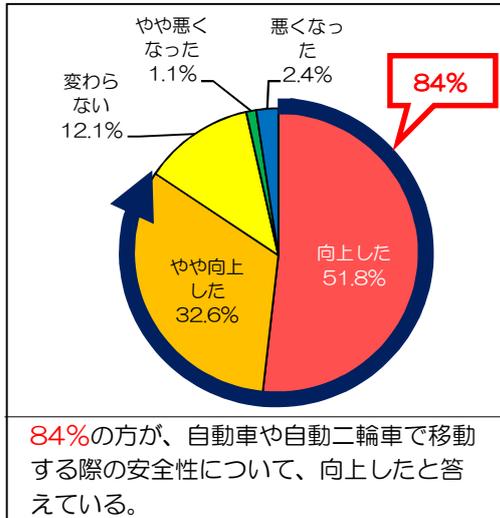
(1) 走行性（走りやすさ）の変化



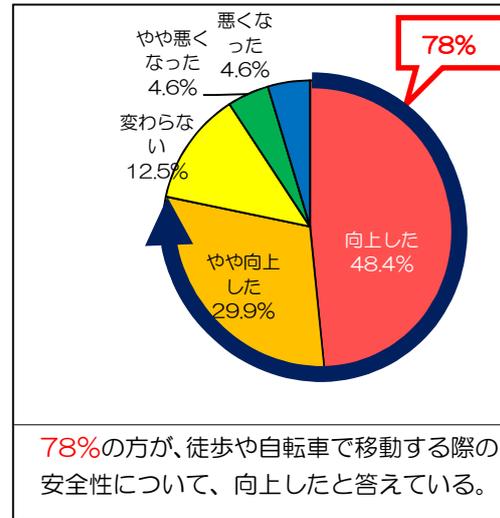
(2) 他の地域への移動時間の変化



(3) 安全性（自動車や自動二輪車）の変化



(4) 安全性（徒歩や自転車）の変化



(5)「水橋拡幅」を利用した感想

	回答数
他の地域（宇都宮市・益子町・茂木町など）へ行きやすくなった。	39
買い物が便利になった。	34
高速道路（真岡IC・上三川IC）へ行きやすくなった。	17
通勤（通学）が便利になった。	17
医療機関（通院等）へ行きやすくなった。	14
合計	121

※複数回答可

自由意見

- ◇ 渋滞が短くなり益子町から清原工業団地への通勤が楽になった。
- ◇ 以前は通勤の車で混み合っていたが、開通後はスムーズに流れているので良くなったと思う。夜間はとても静かになり安眠出来ている。
- ◆ 乗用車やトラックがスピードを出すようになり、危険を感じるようになった。
- ◆ 暫定2車線の供用であるため、早く4車線の道路に完成して欲しい。
- ◆ 宇都宮方面清原東小学校までが狭くて急カーブもあるため、整備を早く進めて欲しい。

5 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業により、①交通の円滑化、②歩行者・自転車等の安全な通行空間の確保、③地域交流の促進、④緊急輸送道路ネットワークの強化等、様々な整備効果が発現しており、道路利用者のアンケート調査からも事業の効果が確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考えている。

一方、アンケート調査の意見のうち「乗用車やトラックがスピードを出すようになり危険を感じるようになったように感じる」などの交通ルール違反やマナーの改善については、交通管理者に情報提供する。また、「早く4車線の道路にして欲しい」や「宇都宮方面の整備を早く進めて欲しい」などの要望が多く寄せられており、引き続き事業を実施していく。

6 同種事業への反映

本事業においては、車道の拡幅及びミニバイパスの整備による交通の円滑化、自転車歩行者道の整備による歩行者・自転車の安全確保、日常生活での利便性向上など十分な効果を確認することができた。

今後、同種事業を実施する際には、早期に事業効果を発揮させるための暫定2車線での段階的な供用や、限られた予算の中で事業の効率性を高めるための整備手法の柔軟な選択を行うなど、今後の同種事業の計画策定等に役立てていく。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2410 FAX : 028-623-2417

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

